

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみらいのいぶき		
○保護者評価実施期間	令和7年1月22日	～	令和7年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年1月22日	～	令和7年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	グループ企業において、すべてのサービスに「リハビリテーション」の考え方を中心に置いております。特に子どもさん、保護者様の自律支援（意思決定のサポート）をベースにサービスを構築しております。	「リハビリテーション」だからと言ってセラピスト（PT/OT）のみならず、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、看護師と多職種で構成されますが、支援会議では「自律を支援するためには」の考え方に立ち返るようにしています。	医療、療育は日進月歩しております。知識技術の情報の更新に勤しむべく、様々な手段を使ってスタッフにインプットされる情報を更新してまいります。
2	障がい種の種別で受け入れ制限は行っておりませんが、特に「医療的ケアを必要とされる子どもさん」を積極的に受け入れに力を入れております。	ケアの必要があるお子様を他のお子様がお手伝いをするなど、思いやりの心が芽生えていると感じます。また、「医療的ケアを必要とされる子どもさん」のアクシデントを想定し、看護師と協働しスムーズに処置ができるよう「緊急時対応シミュレーション」訓練実施回数を多く行っております。	想定されるアクシデント内容が「子どもさんごと」「医療的ケア内容ごと」と様々なことが想定されます。パリエーションを増やし、有事に備えるよう訓練してまいります。
3	安全で安心、快適な時間を過ごしていただけるよう、「環境整備」に力を入れております。	「環境整備」は狭義の「清掃」と捉えておりません。ご利用者様にとって安全かつ安心して過ごしていただける「環境を整備する」取り組みと捉えております。安全が確保されないような箇所を見つけた場合（段差、滑りやすさ等の予測されるアクシデントに対して）は、早急に対策を講ずることができるようになりました。	子どもさんの目線に立って、環境という景色を見ることを引き続き行って参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【設問14】 家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等提供が行われていますか。	ご家族がどのような「家族支援に対する」ニーズ調査の情報収集が不足している。	事業所で取組む計画として「ハンズオフ支援」を企画しています。ハンズオフとは保護者様と共有した「目標（自立度を高める）」に対し、事業所外（特にご家庭）で取り組んでいただけるプログラムです。その伝達手段として、理解していただけるようなチラシ、写真、動画等を考えています。ニーズに合った発信方法で実施してまいりたいと思います。
2	【設問23】 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	各種対応マニュアルは策定し、事業所内において各種訓練を実施しておりますが、マニュアルの公表自体までは至っておりません。	保護者様との共同訓練もありますので、情報周知を「お知らせ文書（アナログ）」だけではなくITを使った情報周知手段を検討して参ります。
3	【設問11】 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	医療的ケアの子どもさんも多数ご来所されており、懸念している事項はやはり「感染症のリスク」です。	当事業所において「感染症対策」を充分行っております。が、ご来訪される事業所様においても充分ご配慮いただけるなど、双方の整備が必要と感じています。